



滋賀県立大学 2019年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1800040	現代生活論 未定* 後期	・ ・ ・	1
1810030	アジア考古学B 金 宇大 前期	・ ・ ・	3
1810070	環琵琶湖地域論B 水野 章二 後期	・ ・ ・	5
1810095	環琵琶湖保存修景計画論 石川 慎治 前期	・ ・ ・	7
1810105	地域計画特論 萩原 和 後期	・ ・ ・	9
1810130	現代中国特論B 横田 祥子 後期	・ ・ ・	11
1810160	社会学特論B 武田 俊輔 前期	・ ・ ・	13
1810200	女性史・ジェンダー論B 京樂 真帆子 後期	・ ・ ・	15
1810230	地域産業論B 塚本 礼仁 後期	・ ・ ・	17
1810260	地域文化遺産調査・情報論 石川 慎治 前期	・ ・ ・	19
1810270	地域文化学特別演習(地域・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	21
1810280	地域文化学特別演習(地域・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	23
1810290	地域文化学特別研究(地域・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	25
1810300	地域文化学特別研究(地域・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	27
1810310	中国文化史特論 濱野 亮介 前期集中	・ ・ ・	29
1810370	日本考古学B 辻川 哲朗 前期	・ ・ ・	31
1810380	日本生活文化論 市川 秀之 前期	・ ・ ・	33
1810410	美術史特論B 亀井 若菜 後期	・ ・ ・	35
1810500	応用言語学特論A 中谷 博美 後期	・ ・ ・	37
1810510	応用言語学特論B Martin Hawkes 前期	・ ・ ・	39
1810520	英語詩学特論 John Rippey 後期	・ ・ ・	41
1810530	日英対照言語学特論 小熊 猛 後期	・ ・ ・	43
1810550	国際文化論特講A 吉村 淳一 前期	・ ・ ・	45
1810560	国際文化論特講B 橋本 周子 前期	・ ・ ・	47
1810570	国際文化論特講C 棚瀬 慈郎 前期	・ ・ ・	49
1810580	国際文化論特講D Borjigin Burensain 前期	・ ・ ・	51
1810590	国際文化論特講E 島村 一平 後期	・ ・ ・	53
1810600	国際文化論特講F 河 かおる 前期	・ ・ ・	55
1810610	国際文化論特講G 呉 凌非 後期	・ ・ ・	57
1810630	地域文化学特別演習(国際・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	59
1810640	地域文化学特別演習(国際・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	61
1810650	地域文化学特別研究(国際・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	63
1810660	地域文化学特別研究(国際・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	65
1820045	生活デザインプロジェクト演習 専攻教員 後期	・ ・ ・	67
1820050	生活文化学特別演習(デザイン・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	69
1820060	生活文化学特別演習(デザイン・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	71
1820070	生活文化学特別研究(デザイン・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	73
1820080	生活文化学特別研究(デザイン・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	75
1820105	道具デザイン特論A 面矢 慎介 前期	・ ・ ・	77
1820115	道具デザイン特論B 印南 比呂志 後期	・ ・ ・	79
1820117	道具デザイン特論C 南 政宏 前期	・ ・ ・	81
1820135	服飾デザイン特論A 森下 あおい 前期	・ ・ ・	83
1820136	服飾デザイン特論B 横田 尚美 後期	・ ・ ・	85
1820137	マーケティング特論 山田 歩 前期	・ ・ ・	87
1820160	健康栄養特論 [栄養機能科学特論] 宮本 賢一 前期集中	・ ・ ・	89
1820170	実践栄養教育学特論 [栄養教育特論] 奥村 万寿美 後期	・ ・ ・	91
1820180	栄養制御論 福渡 努 後期	・ ・ ・	93
1820205	分子運動栄養学特論 中井 直也 前期	・ ・ ・	95
1820210	行動学特論/ 上野 有理 前期	・ ・ ・	97
1820220	児童健康問題特論/ 奥村 万寿美 前期	・ ・ ・	99
1820230	小児医学特論/ 多賀 崇 前期集中	・ ・ ・	101
1820235	住環境デザイン特論A 宮本 雅子 前期	・ ・ ・	103
1820236	住環境デザイン特論B 藤木 庸介 前期	・ ・ ・	105
1820237	住環境デザイン特論C 佐々木 一泰 後期	・ ・ ・	107
1820245	栄養疫学特論 今井 絵理 前期	・ ・ ・	109
1820270	食文化特論/ 堀越 昌子 前期集中	・ ・ ・	111
1820280	生活文化学特別演習(健康栄養・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	113
1820290	生活文化学特別演習(健康栄養・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	115
1820300	生活文化学特別研究(健康栄養・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	117
1820310	生活文化学特別研究(健康栄養・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	119
1820364	教育学特講B 木村 裕 後期	・ ・ ・	121
1820392	社会学特講B 丸山 真央 前期	・ ・ ・	123
1820400	生活文化学特別演習(人間関係・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	125
1820410	生活文化学特別演習(人間関係・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	127
1820420	生活文化学特別研究(人間関係・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	129
1820430	生活文化学特別研究(人間関係・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	131
1820440	比較行動論特講 上野 有理 前期	・ ・ ・	133
1820441	フィールド心理学特講 松嶋 秀明 後期	・ ・ ・	135
2930010	日本・地域文化論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	137
2930020	日本・地域文化論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	139
2930030	アジア・地域文化論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	141
2930040	アジア・地域文化論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	143
2930050	考現学・保存修景論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	145
2930060	考現学・保存修景論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	147
2930070	生活デザイン論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	149

2930080	生活デザイン論特別研究	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	151
2930090	健康栄養論特別演習	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	153
2930100	健康栄養論特別研究	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	155
2930110	人間関係論特別演習	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	157
2930120	人間関係論特別研究	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	159
2930130	研究方法特論	専攻教員	通年集中	・ ・ ・	161
2930140	リサーチ・ワークショップ	専攻教員	通年集中	・ ・ ・	163
2930150	日本・歴史文化論特別演習	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	165
2930160	日本・歴史文化論特別研究	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	167
2930170	日本・現代地域論特別演習	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	169
2930180	日本・現代地域論特別研究	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	171
2930190	国際文化論特別演習	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	173
2930200	国際文化論特別研究	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	175

講義名	現代生活論						担当教員	未定*
講義コード	1800040	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

現代生活における人間関係での諸問題をオムニバス方式により、それぞれの専門領域から批判的に検討する。第1回～第4回「人間発達の進化的基盤と社会的支援」、第5回～第8回「コミュニケーションの研究手法」、第9回～第12回「臨床心理学とナラティブのものの見方」、第13回～第15回「地域社会の構造と変動」。

到達目標

現代生活における人間関係に関わる諸問題について心理学、社会学の専門領域からアプローチして、人間関係論の発展的な課題と方法について理解を深め、自分の考えを的確に述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	発表や各担当教員によって指定された提出レポートを総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア考古学B						担当教員	金 宇大
講義コード	1810030	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

古代、特に4世紀から6世紀における日本列島および朝鮮半島諸地域を主な対象とし、考古資料の分析から地域間交流の実態解明にいかなるアプローチが可能かについて講述する。講義では、当該時期における交流・交渉を考える上で重要な、いくつかの具体的なトピックを紹介しつつ、現状の問題点について整理する。特に、出土遺物を検討対象とした研究から具体的にどういったことがわかるのか、ということに重点を置き、解説を進めていく。

到達目標

- (1) . 古墳・三国時代の研究が、日韓両国でそれぞれどのように取り組まれているのかを把握し、その調和的な理解のためにどういった課題を解決する必要があるのかを認識する。
(2) . 国境をまたいだ研究の難しさを認識することで、汎アジア的な研究に取り組む上でのバランス感覚を得る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70	到達目標(1)について、各受講者の問題意識を問うためのレポートを課す。
上記以外	30	到達目標(2)について、レスポンスカードを兼ねた出席カードで評価する。

授業外学習

授業中に紹介する書籍・論文に随時目を通すのが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	海の向こうから見た倭国	高田貫太	講談社	4062884143
2				
3				

授業はパワーポイントを用いて進める。適宜、プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖地域論 B						担当教員	水野 章二
講義コード	1810070	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

琵琶湖を核として、自然的・歴史的・社会的に密接な関係を作り出してきた環琵琶湖地域の特性を、総合的な視点から検討する。環琵琶湖地域の過去と現在を総合的に検討する中で、現代における新しい地域社会のあり方を追求する。授業では、参加者の関心のあるテーマを随時選び、3人の教員と参加者との自由な議論を通じて、環琵琶湖地域に関する認識を相互に深めていくことをめざす。

到達目標

- (1) 環琵琶湖地域における諸問題について、自分自身の観点から課題を設定できる。
- (2) 設定した問題の意味・有効性・可能性などを的確に説明できる。
- (3) 他の人の報告に対して、積極的に議論し、認識を深めることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業における報告および討論 (1) 環琵琶湖地域における諸問題について、自分自身の観点から課題を設定できる。 40% (2) 設定した問題の意味・有効性・可能性などを的確に説明できる。 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖保存修景計画論						担当教員	石川 慎治
講義コード	1810095	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	171PRE50							

授業概要

生活環境が急激に変化しつつある現在、滋賀県周辺で先人たちがつちかってきた伝統とはぐくんできた文化をあらためて見直し、調査と再評価を通じてこれからのまちづくりに地域の文化遺産と伝統を再生し、活用する方法をさぐる保存修景計画について述べる。

到達目標

- (1) 町なみや文化的景観の現状について理解し、説明できる。
- (2) 町なみや文化的景観の保存のあり方について、自らの考えを述べることができる。
- (3) 町なみや文化的景観の活用や地域の活性化について、自らの考えを述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)町なみや文化的景観の現状について理解し、説明できる、(2)町なみや文化的景観の保存のあり方について、自らの考えを述べるができる、(3)町なみや文化的景観の活用や地域の活性化について、自らの考えを述べるができる、について課題レポート(100%)で評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント資料を配布する。参考書は講義の中で紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域計画特論						担当教員	萩原 和
講義コード	1810105	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	171PRE507							

授業概要

当科目は、日本における地域計画の基本的な枠組みを理解しつつ、各法律（都市計画法、建築基準法、農振法など）の制度的特徴を整理するとともに、各法律を駆使して地域の計画づくりがどのように実施されているのかを理解する。特に高度成長期の農山村、里山地域を舞台としたニュータウン開発（神戸市など）を事例に、どのような客観的データ（推計人口、雇用統計、環境アセスメントなど）に基づいて計画が策定されたのか、実行された計画の現在はどのようなものかについて明らかにしていく。

到達目標

地域計画に関連する各法律（都市計画法、建築基準法、農振法、森林法など）の概要を簡潔に説明することができる。
推計人口、雇用統計、環境アセスメントなどの数値根拠に基づき、どのように開発計画を策定してきたのか簡潔に説明することができる。
地域計画づくりに必要な要件を3つ以上挙げ、先進的な事例を複数提示できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	到達目標で示す内容について、レポートで評価する。
上記以外	30	レスポンスペーパー

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	景観法を活かす どこでもできる景観まちづくり	景観まちづくり研究会 / 編著 岸田里佳子 / 〔ほか著〕	学芸出版社	978-4-7615-2353-4
2				
3				

プリント資料を配布する。参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	現代中国特論B						担当教員	横田 祥子
講義コード	1810130	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

中国と聞くと、現在わたしたちは国境線に囲まれた地理的概念を思い浮かべる。しかし、この境界線は20世紀に入り確定されたものであり、中国の影響がこの範囲に留まったことはなかった。中国の歴代王朝は、近隣諸国と朝貢関係を結んできたし、また膨大な人口規模の移民を、鉱山や農地の開発、商業活動のために、主に東南アジアや北米大陸へ送りだしてきた。このような海外に渡った華僑とその子孫は、移住後中国との結びつきが途切れたわけではなく、20世紀アジアの政治変動の中で、中国と移住先国の間で翻弄されてきた。そして、近年中国が国際社会でプレゼンスを高めるに伴い、彼らの生活やビジネスは再び変化を余儀なくされている。本授業では、東南アジアおよび北米の華人社会といった「外側の中国」から、中国を逆照射することによって、国境線内部にとどまらない相互の影響力と結びつきについて検討する。

到達目標

- (1) 華僑華人研究の主要な議論を理解する。
- (2) 東南アジアから北米まで、複数地域の事例を比較検討することで、広い歴史的視野を持つ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	(1) 授業での議論を理解し、重要概念を用いている。(20%) (2) 海外華僑華人、華人社会に関するトピックを選び、自ら収集したデータに基づき、論じることができる。(20%)
上記以外	40	(1) 関連文献の内容を的確に紹介し、批評できる。(20%) (2) 報告を聞き、議論にて自らの意見を積極的に発表する。(20%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	社会学特論B						担当教員	武田 俊輔
講義コード	1810160	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

社会学という学問の概観を把握するべく、社会学の理論、および社会学の各分野に関する講読と講義を踏まえつつ、ディスカッションを通じてその理解を深める。

到達目標

- (1) 社会理論に関する知識に基づいた社会学的な思考の仕方を習得できる。
- (2) 講義内で取り上げた社会学の個別領域について、社会学的な視点から具体例を挙げて分析し、論述できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	講義内で取り上げた社会学の個別領域について、社会学的な視点から具体例を挙げて分析し、論述できているか。
上記以外	50	毎回の講義内での報告とディスカッションを通じて、社会理論に関する知識に基づいた社会学的な思考の仕方を習得できているか。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	女性史・ジェンダー論B						担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1810200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

滋賀県の近現代史をジェンダーの視点から理解する。特に、戦時中の地域婦人会の活動について、史料や文献に基づいて議論を行う。
隔年開講につき、2018年度は不開講。

到達目標

- (1) 滋賀県内の地域婦人会史料に関する基礎知識を身につける。
- (2) 滋賀県の文化について、ジェンダー分析を行うことが出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	適宜確認テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域産業論B						担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1810230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

今日、地域の振興方策に関する議論が活発であるが、そのなかでも地域産業の育成という問題の重要性や緊急性は非常に高い。本講義では、都心周辺のインナーシティにおける小売商業や全国各地で多様な形をもって展開する観光事業の実情について、地域経済上の役割または機能といった側面から分析・評価していく。なお、隔年開講の地域産業論Aでは、第一次産業（農林水産業）と第二次産業（製造業）を扱う。

到達目標

- (1) 経済地理学の発展的理論を理解し、都市商業の動態を説明することができる。
(2) 経済地理学の発展的理論を理解し、観光地の動態を説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標(1)30%、到達目標(2)30%とする。
上記以外	40	ゼミ形式の文献発表の内容によって評価し、到達目標(1)20%、到達目標(2)20%とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特定のものを使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テーマに沿った文献等を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化遺産調査・情報論						担当教員	石川 慎治
講義コード	1810260	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571JPR508							

授業概要

歴史的環境を構成する町なみや集落、遺跡や遺構などの地域文化財の調査と情報化について述べる。デジタルデータの作成、編集、発信について具体的に解説する。

到達目標

- (1)遺跡や建造物などを対象とする文化財のデジタル測定の基礎を理解し、実践できる。
(2)デジタル測定により、えられた3次元モデルをCGを用いて表現できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)遺跡や建造物などを対象とする文化財のデジタル測定の基礎を理解し、実践できる、(2)デジタル測定により、えられた3次元モデルをCGを用いて表現できる、については毎回課する課題(100%)で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント資料を配布する。参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

文化財情報論を修得していることが望ましい。

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（地域・1年次）						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 京樂 真帆子 / 東 幸代 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 /
講義コード	1810270	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG601							

授業概要

地域の文化にこめられた歴史的伝統や現代的意義を理解し、これらに関する研究を深めていくため、各自が専攻する分野に応じて、文献講読やセミナー形式での報告・討論・評価を行う。

到達目標

(1) 修士論文の作成において欠かせない専門的な知識や技術を習得できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文の作成において欠かせない専門的な知識や技術を習得できるについては、報告の内容で評価を行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（地域・1年次）						担当教員	専攻教員／水野 章二／京樂 真帆子／東 幸代／武田 俊輔／塚本 礼仁／石川 慎治／市川 秀之／亀井 若菜／
講義コード	1810270	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG601							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容・スケジュールを説明する。
第2回	地域文化学特別演習 その1	
第3回	地域文化学特別演習 その2	
第4回	地域文化学特別演習 その3	
第5回	地域文化学特別演習 その4	
第6回	地域文化学特別演習 その5	
第7回	地域文化学特別演習 その6	
第8回	地域文化学特別演習 その7	
第9回	地域文化学特別演習 その8	
第10回	地域文化学特別演習 その9	
第11回	地域文化学特別演習 その10	
第12回	地域文化学特別演習 その11	
第13回	地域文化学特別演習 その12	
第14回	地域文化学特別演習 その13	
第15回	地域文化学特別演習 その14	
第16回	地域文化学特別演習 その15	
第17回	地域文化学特別演習 その16	
第18回	地域文化学特別演習 その17	
第19回	地域文化学特別演習 その18	
第20回	地域文化学特別演習 その19	
第21回	地域文化学特別演習 その20	
第22回	地域文化学特別演習 その21	
第23回	地域文化学特別演習 その22	
第24回	地域文化学特別演習 その23	
第25回	地域文化学特別演習 その24	
第26回	地域文化学特別演習 その25	
第27回	地域文化学特別演習 その26	
第28回	地域文化学特別演習 その27	
第29回	地域文化学特別演習 その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	地域文化学特別演習（地域・2年次）						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 京樂 真帆子 / 東 幸代 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 /
講義コード	1810280	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG601							

授業概要

地域文化にこめられた歴史的伝統を明らかにし、地域文化の現代的意義を認識し、その研究を深めるために、各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

(1) 修士論文の作成において欠かせない専門的な知識と技術を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文の作成において欠かせない専門的な知識と技術を習得するについては、報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（地域・2年次）						担当教員	専攻教員／水野 章二／京樂 真帆子／東 幸代／武田 俊輔／塚本 礼仁／石川 慎治／市川 秀之／亀井 若菜／
講義コード	1810280	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG601							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	地域文化学特別演習その1	
第3回	地域文化学特別演習その2	
第4回	地域文化学特別演習その3	
第5回	地域文化学特別演習その4	
第6回	地域文化学特別演習その5	
第7回	地域文化学特別演習その6	
第8回	地域文化学特別演習その7	
第9回	地域文化学特別演習その8	
第10回	地域文化学特別演習その9	
第11回	地域文化学特別演習その10	
第12回	地域文化学特別演習その11	
第13回	地域文化学特別演習その12	
第14回	地域文化学特別演習その13	
第15回	地域文化学特別演習その14	
第16回	地域文化学特別演習その15	
第17回	地域文化学特別演習その16	
第18回	地域文化学特別演習その17	
第19回	地域文化学特別演習その18	
第20回	地域文化学特別演習その19	
第21回	地域文化学特別演習その20	
第22回	地域文化学特別演習その21	
第23回	地域文化学特別演習その22	
第24回	地域文化学特別演習その23	
第25回	地域文化学特別演習その24	
第26回	地域文化学特別演習その25	
第27回	地域文化学特別演習その26	
第28回	地域文化学特別演習その27	
第29回	地域文化学特別演習その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	地域文化学特別研究（地域・1年次）						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 京樂 真帆子 / 東 幸代 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 /
講義コード	1810290	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG602							

授業概要

各自のテーマに応じて、研究の遂行に関わる基本的な事項（研究計画の立案、フィールドワークの技術、作業仮説の設定、データの収集・解析、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など）を指導する。

到達目標

(1)地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけるについては、報告の内容に基づいて評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別研究（地域・1年次）						担当教員	専攻教員／水野 章二／京樂 真帆子／東 幸代／武田 俊輔／塚本 礼仁／石川 慎治／市川 秀之／亀井 若菜／
講義コード	1810290	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG602							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	地域文化学研究その1	
第3回	地域文化学研究その2	
第4回	地域文化学研究その3	
第5回	地域文化学研究その4	
第6回	地域文化学研究その5	
第7回	地域文化学研究その6	
第8回	地域文化学研究その7	
第9回	地域文化学研究その8	
第10回	地域文化学研究その9	
第11回	地域文化学研究その10	
第12回	地域文化学研究その11	
第13回	地域文化学研究その12	
第14回	地域文化学研究その13	
第15回	地域文化学研究その14	
第16回	地域文化学研究その15	
第17回	地域文化学研究その16	
第18回	地域文化学研究その17	
第19回	地域文化学研究その18	
第20回	地域文化学研究その19	
第21回	地域文化学研究その20	
第22回	地域文化学研究その21	
第23回	地域文化学研究その22	
第24回	地域文化学研究その23	
第25回	地域文化学研究その24	
第26回	地域文化学研究その25	
第27回	地域文化学研究その26	
第28回	地域文化学研究その27	
第29回	地域文化学研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	地域文化学特別研究（地域・2年次）						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 京樂 真帆子 / 東 幸代 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 /
講義コード	1810300	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG602							

授業概要

各自のテーマに応じて、研究の遂行に関わる基本的な事項（研究計画の立案、フィールドワークの技術、作業仮説の設定、データの収集・解析、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など）を指導する。

到達目標

(1) 地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけることができるについては、報告の内容で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別研究（地域・2年次）						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 京樂 真帆子 / 東 幸代 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 /
講義コード	1810300	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG602							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	地域文化特別研究その1	
第3回	地域文化特別研究その2	
第4回	地域文化特別研究その3	
第5回	地域文化特別研究その4	
第6回	地域文化特別研究その5	
第7回	地域文化特別研究その6	
第8回	地域文化特別研究その7	
第9回	地域文化特別研究その8	
第10回	地域文化特別研究その9	
第11回	地域文化特別研究その10	
第12回	地域文化特別研究その11	
第13回	地域文化特別研究その12	
第14回	地域文化特別研究その13	
第15回	地域文化特別研究その14	
第16回	地域文化特別研究その15	
第17回	地域文化特別研究その16	
第18回	地域文化特別研究その17	
第19回	地域文化特別研究その18	
第20回	地域文化特別研究その19	
第21回	地域文化特別研究その20	
第22回	地域文化特別研究その21	
第23回	地域文化特別研究その22	
第24回	地域文化特別研究その23	
第25回	地域文化特別研究その24	
第26回	地域文化特別研究その25	
第27回	地域文化特別研究その26	
第28回	地域文化特別研究その27	
第29回	地域文化特別研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	中国文化史特論						担当教員	濱野 亮介
講義コード	1810310	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571JHS513							

授業概要

【授業全体のテーマ】

中国の宗教文化の展開と伝播

【授業の趣旨】

中国は長らく東アジア世界の中心であったため、その宗教や文化は周辺地域にも強い影響を与えた。よって本授業では、中国で行われていた宗教文化が、どのように東アジア地域に展開し現在に至っているのかを理解するために、日本の宗教文化と比較しつつ、概観する。

到達目標

- (1) 中国の三大宗教である儒教・道教・仏とそれらに基づく文化に関する適切な知識を身につける。
- (2) 中国の文化・思想における宗教の影響、日本の文化や行事との関連性を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	各人が授業内容に関するテーマを設定した上で、関連資料を調べてレポートを提出する。字数は4000字程度。
上記以外		

授業外学習

授業はパワーポイントで行い、全てをプリントで配布するわけではないので、重要な箇所については各人でノートやメモをとること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	テーマで読み解く中国の文化	湯浅邦弘 編著	ミネルパ書房	9784623075096
2				
3				

必要に応じて、プリントを配布する。

前提学力等

中国を中心とする東アジアの一般史については、「世界史B」レベルの内容を理解しておくことが望ましい。

履修資格

講義名	日本考古学 B						担当教員	辻川 哲朗 / 中井 均
講義コード	1810370	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

日本考古学はすでに100年を優に越す研究史がある。近年の発展めざましい関連諸科学との連携や関連諸国の考古学研究の進展に伴って、研究が充実すると同時に内容は複雑化してきている。本講義ではこれらの要点を現状に即して簡潔に整理し、対象を近江に関連付けながら、日本考古学の現状と課題を論じていく。

到達目標

日本考古学の内容を理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	レポート等
上記以外	60	理解度 (50%)、授業態度 (10%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本生活文化論						担当教員	市川 秀之 / 森 隆男
講義コード	1810380	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571JPR501							

授業概要

古来日本人は様々な文化を日常生活のレベルで受容し、それを風土の中でたくみに変容して独自の文化形式を作り上げてきた。そこで、人々の生活の営為の総体としての生活文化の実態を明らかにするとともに、そこに見い出される文化の構造や特質といったものを、地域や時代に即して検討する。

到達目標

生活文化を具体例に即して理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外		授業における発表および授業の最後に提出する小レポートによって評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	美術史特論B						担当教員	亀井 若菜
講義コード	1810410	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

あるテーマを設定しそのテーマに沿った美術作品を取り上げ、作品を詳しく見、関連文献を講読し、何が、どのように、なぜ、描かれているのかをともに考えていく。また、美術史研究の方法や目的についても、関連する文献を読み、討論を通して、考えていきたい。言葉とは異なる表現媒体である「イメージ」が何を見せ主張しているのか、「美術」や「イメージ」について考えるとはどういうことなのかを、文献講読、発表、討論を通して探っていく。
なお取り上げる作品や文献は、「美術史特論A」とは異なるものとする。

到達目標

- (1) 美術の個々の作品が何を見せようとしているのかを、考えることができるようになる。
- (2) 美術史研究の方法について、理解し自ら考えることができるようになる。
- (3) (1)(2)について自らの考えを発表しレポートとしてまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

到達目標(1)(2)については、授業における発言や報告において評価する。(3)については、各自の発表とレポートにより評価する。(1)(2)が40%、(3)が60%。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	応用言語学特論A				担当教員	中谷 博美	
講義コード	1810500	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業概要

第二言語習得論のテーマである母語の要因や年齢要因、動機づけなどの情意面をどのように外国語学習に応用できるかという理論と実践面を多角的に研究する。

到達目標

- (1) 第二言語習得のメカニズムを理解する
- (2) 外国語学習への応用を研究できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	授業での議論を踏まえ、レポートにまとめる
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	応用言語学特論B						担当教員	Martin Hawkes / 小熊 猛
講義コード	1810510	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571LAC502							

授業概要

This course will examine how applied linguistics studies can help us understand second language learning and teaching. It will also introduce some of the research methods required for graduate school studies. The exact content of each class will be determined by students' knowledge and interests. However, the following is a possible course outline:

First, we will explore language teaching methods, and the research that has investigated them; this will include the analysis of classroom interaction. Further, we will look at factors that make good language learners, and some of the research methods that can be used to investigate this area. Finally, we will consider how modern corpora can help us understand language more deeply, and how they can be used as a teaching and learning tools. Course participants can choose a research method to further explore an area of their interest.

到達目標

The aim of this course is as follows:

- To understand issues in second language acquisition and language teaching
- To undergo research method training to conduct second language acquisition/language teaching research

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	Research report: 70%
上記以外	30	Participation and class work: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There are no set textbooks for this course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

In this course, students will be expected both to read academic texts and write an assignment in English.

履修資格

講義名	英語詩学特論						担当教員	John Rippey
講義コード	1810520	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571LAC503							

授業概要

This course deepens understanding of the essential elements of English poetics -- including image, sound, narrative, content, and lineation -- through reading and discussion of prominent works of poetry across the history of English language literature. Poetry and poetics represent a distinct discipline and field of its own. At the same time, poetry and poetics are important elements in every type of language use, whether it be communicative, academic, literary, or other. Poetry and poetics are also sources of pleasure. Working familiarity with poetry and poetics enhances language comprehension and expression and strengthens receptive and productive skills. The course takes a chronological approach to English language poetry and addresses elements of poetics as they emerge in the poems under consideration.

到達目標

- (1) Knowledge of fundamental elements of English language poetics.
- (2) Familiarity with widely known works of English poetry.
- (3) Understanding of the evolution of the English language and English poetics over time.
- (4) Enhanced overall comprehension ability in English, especially in reading skills.
- (5) Enhanced overall expressive ability in English, especially in writing skills.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	(1) 10% (2) 10% (3) 10%
上記以外	50%	Weekly response papers: (1) 10% (2) 10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日英対照言語学特論						担当教員	小熊 猛
講義コード	1810530	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571LAC504							

授業概要

日本語と英語の機能的対応構文を比較対照し、異なる構文選択を「事態の捉え方」の違いに還元できないかを考察します。

到達目標

- (1) 日英の異なる言語的振る舞い（構文の違い）を発見できる。
- (2) 日英間の相違に基づいて研究課題を設定できる。
- (3) 日英の異なる言語的振る舞いを認知的要因に求めるながら、統一的説明が可能な仮説をたてることができる。
- (4) 仮説を論理的に検証できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1) 20% (2) 10% (3) 35% (4) 35%
上記以外	50	(1) 20% (2) 10% (3) 35% (4) 35%

4回以上欠席したものは、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、関連論文等の資料を配付する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

言語学に関する英文の論文が読めること。

履修資格

講義名	国際文化論特講A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1810550	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571WOC501							

授業概要

この授業では言語接触によってドイツ語がどのように変化してきたかについて概観する。その際に、音韻・形態・統語・意味などさまざまなレベルでの言語変化を対象とし、いくつかの具体的な事象を取り上げる。さらにそれらに関する研究例を通じて言語学的アプローチの仕方を学ぶ。

到達目標

(1) 言語現象を様々なレベルで分析する方法を身につけることができる。(2) 言語学的な視点に立って問題提起を行い、資料収集することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1)と(2)についてはレポートの成績に基づいて評価する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

常に問題意識をもちながら、取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介します。

前提学力等

現代ドイツ語について十分な知識があること。

履修資格

講義名	国際文化論特講B						担当教員	橋本 周子
講義コード	1810560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571WOC502							

授業概要

フランス近代の食 研究に関する重要な先行研究を通じ、その方法論などについて学ぶ。また同時に、18・19世紀フランスの食関連文献を原書で読解し、一次資料の扱いに慣れるための訓練を積む。毎回の授業参加に際しては、一定量のテキストを事前に読んで準備してくることを求める。

到達目標

- (1) フランス近代の美食文化の歴史について知識を得る。
- (2) 自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
- (3) 自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。
- (4) 研究を遂行するにあたって支障ないレベルのフランス語運用能力を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標で示す(2)(3)については期末レポートで評価する。
上記以外	60	(1)(4)については、日頃の授業での学習姿勢によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

フランス語中級(フランス語コミュニケーションIIA, IIB, フランス語留学対策)をすべて履修していること。
フランス留学経験があることが望ましい。

履修資格

講義名	国際文化論特講C						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1810570	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571WOC503							

授業概要

インドヒマラヤのチベット社会についての文化人類学的研究を紹介する。その中で、フィールドワークの技法や文化人類学の理論について述べる。

到達目標

チベット社会への理解を深める。
フィールドワークの実際について学ぶ。
文化人類学の理論やタームについて習熟する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業における発表状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インドヒマラヤのチベット世界	棚瀬慈郎	明石書店	4750315044
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特講D						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1810580	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571WOC504							

授業概要

いわゆるモンゴル系の民族集団は、モンゴル国のみならず、ロシア（カルムイク共和国、ブリヤート共和国）中国（内モンゴル自治区、青海省、新疆ウイグル自治区）の3カ国に分散居住している。モンゴル・ディアスポラ（離散民族）の特徴は、ホームランドに居住しながらにして、故郷に対する喪失感を持っているところにあるといえる。本講義では、こうしたモンゴル系集団のディアスポラの状況に至る歴史と現代的諸相を中国領モンゴル族とモンゴル国の関連など関連事項を踏まえながら考察する。

到達目標

国境にまたがる民族としてのモンゴル系諸族のディアスポラの状況を歴史・文化的側面から理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	課された課題を提出することやその内容によって評価
上記以外	50	出席状況と授業中の積極的な姿勢などによる評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ボルジギン・ブレンサイン編著『内モンゴルを知るための60章』明石書店、2015年7月

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特講E						担当教員	島村 一平
講義コード	1810590	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571WOC505							

授業概要

【内陸アジア文化人類学の最前線】

本講義では、モンゴルを含めた内陸アジアの社会・文化人類学研究の最前線を講じていく。かつてソ連やモンゴル人民共和国など、社会主義を標榜していた当該地域は、市場経済化や民主化といった政治経済的な変化のみならず、さまざまな文化・社会的転回を経験してきた。そうした中、この地域を巡る文化・社会人類学的研究は、ポスト社会主義の遊牧に関する生態・環境人類学的研究や宗教復興あるいは活性化（シャーマニズムや仏教、イスラームなど）などの問題を中心にさまざまな議論が展開されてきた。本講義では、こうした最前線の議論を紹介しながら、議論をしていくという形をとる。英語を含めた指定文献を読むことが必要となろう。

到達目標

内陸アジア文化人類学の最前線を知ることができる。
単なる事実にとどまらず、概念化（理論化）の手法を学ぶことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	発表を課すものとする。

レポートと発表で評価するものとする。

授業外学習

指定された文献やレジュメを読んでから、授業に参加することが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回、レジュメを配布する。

前提学力等

社会・文化人類学の基礎理論を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	国際文化論特講F						担当教員	河 かおる
講義コード	1810600	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571WOC506							

授業概要

韓国・朝鮮近現代の歴史や社会、マイノリティー問題、ジェンダー論など、担当教員(河)の研究分野と、受講生の研究分野との接点を見いだして、授業で読み合わせる学術論文を決め、受講生が担当した学術論文の内容を要約して発表・論評し、全員で討論する形式で進める。

到達目標

自分が専門外とする分野であっても学術的な論文を正確に読み解き、他者の研究を的確に論評する力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題報告および討論への参加

授業外学習

指定した学術論文を必ず精読してくること。発表の準備をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特講G						担当教員	呉 凌非
講義コード	1810610	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	571WOC507							

授業概要

本講義のテーマは中国語の白話史である。現代中国語に繋がる白話は唐末・五代の資料からまとまってみられるようになる。授業では唐末・五代、宋代、元代、明代、清代のそれぞれの時代を代表する白話文献（主に明清白話小説）を解説するとともに、作品の一部を講読する。

到達目標

- (1) 白話小説（四大奇書・五大小説）に関する理解を深めることができる。
- (2) 近代漢語で著された文献が専門的辞書を傍らに置きつつも読み進めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1)について、記述試験を行う。(50%)
レポート課題	50%	到達目標(2)について、作品を指定し、日本語訳の提出を求める。(50%)
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは使用しない。プリント等を適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書については授業中に適宜紹介する。

前提学力等

中国語学習歴があることが望ましい。

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（国際・1年次）						担当教員	専攻教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1810630	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG601							

授業概要

アジアや欧米における文化や歴史、言語などについて、各学問領域における研究の成果を把握し、自らの学問的なテーマを深めてゆくことをねらいとする。そのために、文献購読や研究成果の発表などをおこない、研究手段に関する理解や専門知識の習得をはかる。

到達目標

修士論文の作成において欠かせない専門的な知識や学問的な方法論を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	文献購読や研究発表への参加、討論の状況や報告内容について総合的に評価する。

文献購読や研究発表への参加は原則毎回出席しなければならない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導する教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（国際・2年次）						担当教員	専攻教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1810640	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG601							

授業概要

修士論文の完成に向けて、各自の研究成果の発表や、その内容についての討論を中心におこなう。

到達目標

自らの研究内容を批判的に検討し、高い学問的水準を保ち、独創性のある修士論文を完成させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	文献購読や研究発表への参加、討論の状況や報告内容について総合的に評価する。

研究発表会への参加は必須とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導する教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別研究（国際・1年次）						担当教員	専攻教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1810650	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG602							

授業概要

各自のテーマに応じて、研究の遂行に関わる基本的な事項（研究計画の立案、調査手法、作業仮説の設定、データの収集と解析、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など）を指導する。

到達目標

(1) 修士論文の完成に向けて、学問的な方法論を身に付ける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究手法の習得状況にしたがって、各指導教員が総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化化学特別研究(国際・2年次)						担当教員	専攻教員/棚瀬 慈郎/吳 凌非/ 山本 薫/島村 一平/河 かのる/ 吉村 淳一/Borjigin Burensain/John
講義コード	1810660	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	571REG602							

授業概要

修士論文の完成に向けて、研究の具体的な進め方について指導する。

到達目標

(1)学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各自の習得状況にしたがって、指導教員が総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活デザインプロジェクト演習						担当教員	専攻教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1820045	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	577LVD501							

授業概要

地域や社会において、よりよい生活環境を実現するために何が問題なのかを明らかにする。その問題に対して取り組む意識や立場、有効な手法を議論し、その解決方法を検討し、具体的な提案や発表、制作等を行う。

到達目標

地域、社会に関わる問題について専門的視点から分析、考察し、解決・提案できる総合的な生活デザイン能力の習得をめざす

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	レポート・制作物等の提出、発表などにもとづき、学科教員全員の協議により評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（デザイン・1年次）						担当教員	専攻教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1820050	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	577LVD601							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	中間発表会での発表、途中の進捗状況、レポート・制作物等によって評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（デザイン・2年次）						担当教員	専攻教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1820060	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	577LVD601							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	途中の進捗状況、レポート・口頭発表・制作物等によって評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（デザイン・1年次）						担当教員	専攻教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1820070	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	研究	
ナンバリング番号	577LVD602							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	中間発表会での発表、途中の進捗状況、レポート・口頭発表・制作物等によって評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（デザイン・2年次）						担当教員	専攻教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1820080	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	研究	
ナンバリング番号	577LVD602							

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、調査、実験、実証技術の習得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文・作品の作成など研究の遂行に関わる基本的事項について指導する。

到達目標

修士論文・修士制作の完成

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出された論文・作品が、修士研究の水準にあるかどうかを判断し合否判定を行う。研究の成果として制作物を提出することもできる。詳細は修士の学位論文審査基準による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	道具デザイン特論A						担当教員	面矢 慎介
講義コード	1820105	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	577TLD501							

授業概要

道具デザインに関する専門的かつ理論的知見を深めるために、主として近代から現代にいたる生活用具および生活機器のデザイン変遷について、いくつかの事例を選び、その技術的、経済的、社会的、文化的背景からの分析・評価をおこなう。関連資料の探索・収集、資料批判、実物資料（最終製品）の実見のほか、ときにはメーカー関係者やデザイナーからの聞き取り、その道具の使用実態の調査などを含む。

到達目標

道具デザインに関する専門的かつ理論的知見を深める。そのために探索した資料からの構造化について習熟する。（１）自分でテーマを探索し決定できる。（２）テーマに沿った資料探索ができる。（３）資料にもとづいた中間報告ができる。（４）各資料を関係づけその相互関係を構造化できる。（５）資料調査にもとづいた考察を文章にまとめができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	最終レポート
上記以外	20	授業中の発表

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Social Construction of Technological Systems	Bijker, W.E. et al.	The MIT Press	0-262-02262-1
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	道具デザイン特論B						担当教員	印南 比呂志
講義コード	1820115	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	577TLD502							

授業概要

日本国内の様々な地域活動や地場産業、アジア、欧州における事例を参考にしながら進める。そして、その製品の歴史、市場、変遷、社会的価値についてさまざまな視点から考察を試みる。また、ものづくりとしての製品開発における企画設計プロセス、市場での製品流通やマネジメントに至るまでの実際を学ぶ。講義を通じて、以上の趣旨を理解しかつ道具デザインのための資源発掘や、課題解決に関する方針・計画・ノウハウなどについて理解を図る。

到達目標

- ・道具のデザイン開発者の基本姿勢やねらいの持ち方を、地域の課題と関連づけて理解できる。
- ・個別の道具紹介事例における、資源発掘、課題発見及び課題解決のプロセスが理解できる。
- ・自身の生活環境における道具デザイン上の課題について、学究的な視点により考察していく能力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	最終レポート課題による評価20%、中間発表の評価60%
上記以外	20	フィールド調査課題

授業外学習

ローカルな地域産業や、海外の地域的な産業を注視しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	複製技術の時代の芸術	ヴァルター・ベンヤミン	晶文社	978-4794912664
2	インダストリアルデザインの歴史	ジョン・ヘスケット	晶文社	4-7949-56888-6
3				

前提学力等

履修資格

講義名	道具デザイン特論C						担当教員	南 政宏
講義コード	1820117	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	577TLD503							

授業概要

多様化しつつあるデザインの役割への知識を深める。デザインによって解決される問題について掘り下げを行い、デザインに求められる現実的なテーマを設定し、商品企画、パッケージ、ブランディング、デザイン、流通など実践的なデザインテーマを通しての分析・考察・提案を行なう。

到達目標

調査から問題を見つけ出し、デザイン手法を用いた問題発見能力、問題解決能力、提案能力、表現力などを習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	中間発表と、最終成果物

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

illustrator, photoshopなどを使用したデザインプレゼンテーションができることが望ましい。

履修資格

講義名	服飾デザイン特論A						担当教員	森下 あおい
講義コード	1820135	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	577FSD501							

授業概要

この講義では、人が着装する土台となる体形に視点をおいて、デザインの現状と課題を講義する。衣服設計のために必要な体形把握は、どのような方法で行い、体形を分析することで、何か明らかになるのかを理解する。またさまざまな着用者の体形に対して、衣服の機能性と装飾性には、どのような課題があるのか、先行研究や社会背景を事例として考察する。

到達目標

- (1) 着衣基体としての体形把握の知識
- (2) 体形からみた衣服デザインの分析力

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	課題に対して自らが適切なテーマを設定し調査しまとめる
上記以外	40	課題を整理して問題点について分かりやすく発表する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業でプリントを配布します

前提学力等

履修資格

講義名	服飾デザイン特論B						担当教員	横田 尚美
講義コード	1820136	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	577FSD502							

授業概要

服飾に関する研究を進めるのに必要な文献を講読して、研究の基礎となる知識を得るとともに、その背景を理解する。服飾の現物史料の展示を見学し、文献以外の資料を用いた服装史研究についても関心を持たせる。博士論文が基になった文献を講読することにより、論文の構成や書き方などの手法を学ぶ。

到達目標

- (1) 『みっともない人体』の内容について理解し、論じることができる。
- (2) 『モードの迷宮』の内容について理解し、論じることができる。
- (3) 『学校制服の文化史』の内容について理解し、論じることができる。
- (4) 衣装展の意義や衣装の保存修復の意義を理解し関心が持てる。
- (5) 研究する力と論文をまとめる力が向上する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(4) (5)については、1～2回程度のレポートで評価する。
上記以外	50	(1)～(3)については、それぞれのテーマについての発表内容と授業態度により、評価する。

授業外学習

学外演習以外は、各自が分担分を読み、要旨をまとめる。それを授業内で、発表する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みっともない人体	バーナード・ルドフスキー	鹿島出版会	4-306-04109-3
2	モードの迷宮	鷲田清一	ちくま学芸文庫	4-480-08244-1
3	学校制服の文化史	難波知子	創元社	978-4-422-21014-8

『みっともない人体』は、2回目までに購入しておくこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

学部で服飾について学んでいることが望ましい。

履修資格

講義名	マーケティング特論						担当教員	山田 歩
講義コード	1820137	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	577MKD501							

授業概要

生活者のニーズや行動傾向を観察・分析することを通して、製品やサービスの価値をどのように高めることができるのか、あるいは、どのように高めるべきなのかを考える。文献講読のほか、製品・サービスの利用実態調査や消費者行動実験を行うことによって、既存製品・サービスの問題の発見、より良い製品・サービスの提案を行う。

到達目標

マーケティング分野における問題発見能力と問題解決能力を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	課題を適切に捉えているか。 発想にオリジナリティがあるか。 わかやすく、また、ロジカルに考えを表現できているか。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康栄養特論 [栄養機能科学特論]						担当教員	宮本 賢一 / 吉村 徹
講義コード	1820160	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

栄養学、健康科学、生命科学に関する最近の話題、最新の知見を取り上げ、解説する。

到達目標

栄養学の最新知見を理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	担当教員により示される。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践栄養教育学特論[栄養教育特論]						担当教員	奥村 万寿美 / 廣瀬 潤子
講義コード	1820170	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

健康の維持増進、疾病の発症には、栄養、運動、休養のバランスならびに、遺伝要因・環境要因・加齢が関連しながら深くかかわっている。ヒトの一生における小児期、青年期、壮年期、高齢期等それぞれのライフステージに応じた、また、様々なライフスタイルの対象にふさわしい健康管理の把握とすでに学習した知識の統合能力を基盤に栄養教育のあるべき姿を修得する。ヘルスプロモーションは、ひとびとが健康を得ることで幸福な人生を送れるようにとの願いから作られた概念、健康増進にかかわる一連の活動や理論の総称である。今、何故子どもたちにヘルスプロモーションが必要であるかを、各ライフステージにおける生活習慣病モデルシミュレーションの講義を行い、そこから各人のテーマを決定し、そのテーマに沿い、演習と講義で授業を展開する。

到達目標

健康的な食行動の形成と生活習慣化を図る行動科学理論に基づく栄養教育を演習し、ヘルスプロモーションに寄与する栄養教育の実践力を身につけることを到達目標とする。(1)各ライフステージの栄養教育上の問題点を説明できる。(2)各ライフステージの栄養教育上の問題点について、解決策を提案できる。(3)諸外国での栄養教育の実際の状況を説明できる。(4)行動科学理論に基づいた栄養教育のプランニングができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	レポート(100%)上記到達目標について、(1)30%、(2)20%、(3)30%、(4)20%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布、適宜参考図書等紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	これからの栄養教育論	足立・衛藤・佐藤監訳	第一出版	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養制御論						担当教員	福渡 努
講義コード	1820180	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

今日の栄養学には予防医学というべき面が強い。生活習慣病の予防を含めた健康の維持は、食生活を含めた生活環境によって制御される一面を持っている。栄養素の摂取条件によって、生体内の代謝が変動している様相について解説し、健康維持が栄養素の摂取量によってどのように制御しているかについて論じる。

到達目標

- (1) 栄養素の摂取量と代謝との関係について説明できる。
- (2) 科学的根拠に基づいて論理的思考を展開し、健康の維持に必要な栄養素摂取量について自分の考えを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	30	到達目標(2)について、自らの考えを問うためにレポート課題を課す。
上記以外	70	到達目標(1)および(2)について、毎回、ディスカッションでの発表を課す。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本人の食事摂取基準2015年版		第一出版	9784804113128
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

前提学力等

履修資格

講義名	分子運動栄養学特論						担当教員	中井 直也
講義コード	1820205	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

運動と栄養は身体に大きな影響を及ぼす。そのメカニズムを理解するために、細胞・分子レベルでの運動および栄養が身体に及ぼす影響を理解する。

到達目標

- (1) 運動と栄養が糖質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (2) 運動と栄養が脂質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (3) 運動と栄養がタンパク質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (4) 分子運動栄養学の研究方法について説明できる。
- (5) 分子運動栄養学の最新のトピックスについて、その内容を発表できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	到達目標の(1)～(4)についてレポートを作成する。
上記以外	20%	到達目標(5)について、授業内で発表する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	行動学特論/						担当教員	上野 有理
講義コード	1820210	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

行動学では、行動の至近要因（行動の起こるプロセス）と究極要因（行動の進化の基盤）の双方を研究することが基本となる。この講義では、さまざまな行動を素材として、両者へのアプローチ手法や実践について学ぶ。

到達目標

- (1) 進化生物学的アプローチにより人間行動を捉える視点を学ぶ。
(2) 至近要因と究極要因の両者から行動について考える視点を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	授業時間外に課される課題により、(1)を30%、(2)を30%評価する。
上記以外	40	授業時間内に課される課題により、(1)を20%、(2)を20%評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	児童健康問題特論/						担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1820220	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

成長・発育期にあたる児童における急性疾患や慢性疾患は、患児の病態や病状等に応じた適切な栄養アセスメント、栄養診断により具体的な栄養ケアを立案し、日々実践することにより疾病の治癒・回復に役立つ栄養マネジメントとなる。患児の社会生活環境や療養環境などの現状を踏まえた栄養治療、実態調査、あるいは症例研究を介して、児童の健康の維持・増進あるいは健康回復の問題点について考える。

到達目標

- (1) 児童の心身の健全な成長・発育を阻害する問題点を明らかにすることができる。
- (2) 患児の社会生活環境や療養環境などの現状を踏まえ、患児の発育段階や病態・病状等に応じた適切な栄養診断・栄養アセスメントにより具体的な栄養ケアを立案することができる。
- (3) 患児と保護者、学校関係者との関わりについて理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	レポート課題 「あなたが解決したい児童における社会問題」を、現在の社会情勢を踏まえて、特に栄養と食の面から、解決すべき問題点を考える。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	小児医学特論/						担当教員	多賀 崇 / 澤井 俊宏 / 松井 克之 / 底田 辰之
講義コード	1820230	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

「子どもは大人のミニチュアではない」。これは小児の疾病を理解するためのキーワードである。小児は生理的な特性が成人と異なるため、疾病罹患の病態も成人とは異なる。さらに、小児期に特徴的な疾病も存在する。栄養に関連した疾病でも同様であるが、小児期は成長発達の時期でもあるため、これを踏まえて疾病を理解しなければならない。本講義ではこれらの点についての理解が進むよう最新の知見も交えて解説する。

到達目標

栄養に関連した小児疾患について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に関して講義毎のレポートで評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書：特になし。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回参考となるプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	住環境デザイン特論A						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1820235	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	577RED501							

授業概要

心理的・生理的に快適な室内空間を計画するためには、人間とインテリア・エレメントとの相互関係を捉える必要がある。そのための実験・調査手法を論じるとともに、それらについての研究資料を通じて室内環境計画上の問題点について考察する。また、超高齢社会となった現在、快適な室内環境を計画していくためにはユニバーサルデザインの視点を取り入れていく必要がある。その意義について論じるとともに住居計画での事例を分析する。

到達目標

- (1)室内環境計画の調査手法について理解する。
- (2)室内環境にかかわる問題について、その解決策を調査・検討できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	
上記以外	60	到達目標の(1)室内環境計画の調査手法について理解する、については、課題発表30%、(2)室内環境にかかわる問題について、その解決策を調査・検討できる、については、最終レポート40%、課題発表30%で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：日本建築学会編「環境心理調査手法入門」技報堂出版、日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成バリアフリー」丸善、他

前提学力等

履修資格

講義名	住環境デザイン特論B						担当教員	藤木 庸介
講義コード	1820236	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	577RED502							

授業概要

都市や地域における生活空間の構成手法について、歴史、文化、社会、経済、技術といった視点から考える。特に、世界の各地域における、地域に固有な生活空間（居住空間、集落空間、都市空間）の形態とその構成原理について、既往研究成果の理解を通して比較考察するとともに、伝統的な生活空間の持つ意味をどのように現代の生活空間計画に継承・反映しうるのか、そのあり方について考える。

授業は受講者による発表とその後の議論という形式をとる。

到達目標

- (1) 様々な地域の固有な生活空間（居住空間、集落空間、都市空間）の形態とその構成原理について理解する。
- (2) 具体的な地域の生活空間を事例を挙げて自らリサーチし、分析、考察の上、その構成原理を説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	本授業を通して得た知識、各自のリサーチ結果とその分析、考察等をリサーチペーパーとしてまとめ、提出を求める。これを到達目標に照らし合わせて評価を行う。評価の比率は、(1)を50%、(2)を50%とする。
上記以外		

授業時間の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	住まいがたえる世界のくらし	藤木庸介(編)	世界思想社	ISBN978-4-7907-1689-1
2	生きている文化遺産と観光	藤木庸介(編)	学芸出版社	ISBN978-4-7615-2480-7
3				

参考書は授業内で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	住環境デザイン特論C						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1820237	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	577RED503							

授業概要

年度ごとにテーマを設定し、様々な場所から、空間をデザインしているエレメントを抽出する。
 地域性や機能性、属性、関係性など、より実践的、専門的な視点から調査・分析する。
 また、それぞれのエレメントの問題点や、引用、転用の可能性を探り、実践的な空間デザインへの応用を考える。

到達目標

- (1)空間デザインの比較・考察が出来る。
- (2)空間デザインについての比較・考察を、各々具体的な手段によって表現が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	授業内レポート、最終レポートによって評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養疫学特論						担当教員	今井 絵理
講義コード	1820245	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

栄養疫学は、食習慣や食行動が健康状態や疾病発症に与える影響を明らかにすることを目的としている。

本講義では、疫学研究のデザイン、各種の食事調査法のメリット・デメリット、疫学研究における測定誤差、疫学研究で使用する統計手法を理解していることを前提条件とし、最近の栄養疫学論文、栄養疫学研究の英語書籍 (Willett W. Nutritional Epidemiology) を読み解くことで、栄養疫学についての理解を深める。

到達目標

- (1) PubMedなどのデータベースを活用した文献の検索方法を理解している。
- (2) 疫学研究で使用する主な統計手法を説明できる。
- (2) 疫学研究で使用する主な研究デザインを説明できる。
- (3) 自ら収集した論文を読み解く能力を身につけることができる。
- (4) 自ら収集した論文をまとめ、わかりやすく人に説明することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	プレゼンテーション内容と質疑応答、授業態度で評価する。

到達目標で示した事項について、プレゼンテーション内容と質疑応答、授業態度 (100%) で評価する。
100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
事業時間数の3分の1以上を欠席したものは評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は特に使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養疫学論の講義を受講していることが望ましい。

履修資格

講義名	食文化特論/						担当教員	堀越 昌子
講義コード	1820270	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

琵琶湖を持つ滋賀県の食文化の特徴を世界の食文化と比較しながら学び、その成立背景を探っていく。滋賀の食文化は琵琶湖の湖魚類を発酵させたナレスシ文化があり、栄養バランスの優れた湖周型食生活を形成している。この特色ある食文化を学び継承していく。

到達目標

環境、風土に根づいた暮らしとそこで形成されてきた食文化の大事さを理解する。・地域の食文化を分析し、持続可能な生活のあり方を創造していきける力を養成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	課題レポートから理解度と考察力を基準に評価する。
上記以外	50	プレゼンテーション「出身地の風土と食文化の特徴を分析し、まとめて報告する」

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フナズシの謎	滋賀の食事文化研究会	サンライズ出版	978-4-88325-166-7
2	銃・病原菌・鉄	ジャレッド・ダイヤモンド	草思社	4-7942-1005-1
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（健康栄養・1年次）						担当教員	専攻教員 / 福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1820280	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572NUT601							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員が、研究課題の進捗状況報告に基づき評価を行う。担当教員が、中間発表（毎年7月）に基づき評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（健康栄養・1年次）						担当教員	専攻教員 / 福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1820280	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572NUT601							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第2回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第3回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第4回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第5回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第6回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第7回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第8回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第9回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第10回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第11回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第12回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第13回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第14回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第15回	中間発表	中間発表会を行う
第16回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第17回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第18回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第19回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第20回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第21回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第22回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第23回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第24回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第25回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第26回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第27回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第28回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第29回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第30回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
担当者から一言		

講義名	生活文化学特別演習（健康栄養・2年次）						担当教員	専攻教員 / 福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1820290	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572NUT601							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員が、研究課題の進捗状況報告に基づき評価を行う。担当教員が、中間発表（毎年7月）に基づき評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（健康栄養・2年次）						担当教員	専攻教員／福渡 努／廣瀬 潤子／ 佐野 光枝／矢野 仁康／遠藤 弘史／ 中井 直也／今井 絵理／東田 一彦／
講義コード	1820290	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572NUT601							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第2回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第3回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第4回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第5回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第6回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第7回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第8回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第9回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第10回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第11回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第12回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第13回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第14回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第15回	中間発表	中間発表会を行う
第16回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第17回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第18回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第19回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第20回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第21回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第22回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第23回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第24回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第25回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第26回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第27回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第28回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第29回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
第30回	進捗状況報告	指導教員に研究の進捗状況を報告する
担当者から一言		

講義名	生活文化学特別研究（健康栄養・1年次）						担当教員	専攻教員 / 福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1820300	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572NUT602							

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の習得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

各自の研究テーマに応じ、研究の遂行に関わる基本的事柄について修得し、最終的に論文を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員が、各自の研究テーマに応じ、研究の遂行に関わる基本的事柄についての習得状況を評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（健康栄養・2年次）						担当教員	専攻教員 / 福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1820310	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572NUT602							

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の習得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

- (1) 論文の体裁（構成、書式）が整っており、論理展開が明快であること
- (2) 研究の目的・方法が明確で、新たな知見を含んでいること
- (3) 十分な調査・実験に基づき、結果の分析と考察が十分に行われていること
- (4) 内容が国内外の学会で発表できる学問的水準に達していること
- (5) 発表会において、制限時間内にわかりやすく発表し、質問に対して的確に答えられること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	審査委員会が到達目標で示した内容について審査する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	教育学特講B						担当教員	木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1820364	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

教育学の基本文献の講読と議論を通じて、教育学の理論的・実践的課題についての理解を深める。受講者の興味関心および学術研究の進展に応じて、適宜内容を変更する可能性があることを承知されたい。

到達目標

教育学の基本文献を正確に読み解き、他者と議論することを通じて、教育学の理論的・実践的課題についての理解を深めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	最終レポート課題
上記以外	60	報告と議論

授業外学習

事前に必ず文献を読んでくること

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	社会学特講B						担当教員	丸山 真央 / 中村 好孝 / 大野 光明
講義コード	1820392	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

社会学の各分野の基本文献の講読や講義を通じて、社会学という学問の基本的な性格を把握し、理解を深めることを目標とする。具体的には、地域社会、福祉、社会運動、メディアなどの分野の研究を中心に提起し、社会の構造と変動を理論的・実証的に理解する視点と方法を学ぶ。

到達目標

- (1) 社会学の基本的な視点と知識を身につける。
- (2) 現代社会の諸事象について、社会学の視点と方法を用いて理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	レポート課題を出し、(1)と(2)の到達度を評価する((1)25%、(2)25%)。
上記以外	50%	発表・報告によって、(1)と(2)の到達度を評価する((1)25%、(2)25%)。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。適宜資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業の中でその都度紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（人間関係・1年次）						担当教員	専攻教員 / 松嶋 秀明 / 上野 有理 / 中村 好孝 / 丸山 真央 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来 / 大野 光明 /
講義コード	1820400	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572HRS620							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献講読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行に必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行に必要な専門知識や技術、関連知識を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や各指導教員によって指定された提出レポートを総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（人間関係・2年次）						担当教員	専攻教員 / 松嶋 秀明 / 上野 有理 / 中村 好孝 / 丸山 真央 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来 / 大野 光明 /
講義コード	1820410	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572HRS620							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献講読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行に必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行に必要な専門知識や技術、関連知識を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や各指導教員によって指示された提出レポートを総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（人間関係・1年次）						担当教員	専攻教員 / 松嶋 秀明 / 上野 有理 / 中村 好孝 / 丸山 真央 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来 / 大野 光明 /
講義コード	1820420	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572HRS621							

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の修得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

各自のテーマに応じて論文を作成するための基礎的な研究をおこない、成果としてまとめる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や各教員によって指示された提出レポート等を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（人間関係・2年次）						担当教員	専攻教員 / 松嶋 秀明 / 上野 有理 / 中村 好孝 / 丸山 真央 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来 / 大野 光明 /
講義コード	1820430	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	572HRS621							

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の修得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

各自のテーマに応じ、研究を実施し論文を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文中間発表と修士論文の内容、および公聴会での状況を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	比較行動論特講						担当教員	上野 有理
講義コード	1820440	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

行動学では、行動の至近要因（行動の起こるプロセス）と究極要因（行動の進化の基盤）の双方を研究することが基本となる。この講義では、さまざまな行動を素材として、両者へのアプローチ手法や実践について学ぶ。

到達目標

- (1) 進化生物学的アプローチにより人間行動を捉える視点を学ぶ。
(2) 至近要因と究極要因の両者から行動について考える視点を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	授業時間外に課される課題により、(1)を30%、(2)を30%評価する。
上記以外	40	授業時間内に課される課題により、(1)を20%、(2)を20%評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フィールド心理学特講						担当教員	松嶋 秀明
講義コード	1820441	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

この科目は、平成28年度は開講されません。
 非行臨床心理学、児童福祉臨床の心理学をテーマとしながら、従来の臨床心理学的理論の枠組みにとどまらず、心理学、社会学そのほかの諸学問の動向を紹介しつつ、現象記述の可能性についても講義する。
 毎回、指定された論文について読み、講師からの紹介につづいてディスカッションをおこない、自らの実践分野への転用可能性についてもさぐる。

到達目標

非行臨床についての諸研究から、この分野についての子どもの発達についての理論と実践についての基礎知識をえる
 児童福祉臨床についての諸研究から、この分野についての子どもの発達についての理論と実践についての基礎知識をえる
 学校臨床についての諸研究から、この分野についての子どもの発達についての理論と実践についての基礎知識をえる
 自らの分野の研究と接合していける力をつける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	文献購読の正確性、新たな視点への理解、自らの実践分野との関連性の意識、論理的な文章の諸点をそれぞれ25%の配点とする。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本・地域文化論特別演習						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 京樂 真帆子 / 東 幸代 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 中井 均
講義コード	2930010	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776JRE701							

授業概要

専門分野・隣接分野について、日本の各地域・各時代を扱った研究論文等を精読し、基礎理論、方法論および先行研究の成果に関する理解を深める。

到達目標

(1) 研究テーマにおける問題の所在や専門分野の研究動向に対する洞察力を涵養する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究テーマにおける問題の所在や専門分野の研究動向に対する洞察力を涵養するについては、報告と討論の内容による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	日本・地域文化論特別演習						担当教員	専攻教員/水野 章二/京樂 真帆子/ 東 幸代/武田 俊輔/塚本 礼仁/ 市川 秀之/亀井 若菜/中井 均
講義コード	2930010	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776JRE701							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	日本・地域文化論演習 その1	
第3回	日本・地域文化論演習その2	
第4回	日本・地域文化論演習その3	
第5回	日本・地域文化論演習その4	
第6回	日本・地域文化論演習その5	
第7回	日本・地域文化論演習その6	
第8回	日本・地域文化論演習その7	
第9回	日本・地域文化論演習その8	
第10回	日本・地域文化論演習その9	
第11回	日本・地域文化論演習その10	
第12回	日本・地域文化論演習その11	
第13回	日本・地域文化論演習その12	
第14回	日本・地域文化論演習その13	
第15回	日本・地域文化論演習その14	
第16回	日本・地域文化論演習その15	
第17回	日本・地域文化論演習その16	
第18回	日本・地域文化論演習その17	
第19回	日本・地域文化論演習その18	
第20回	日本・地域文化論演習その19	
第21回	日本・地域文化論演習その20	
第22回	日本・地域文化論演習その21	
第23回	日本・地域文化論演習その22	
第24回	日本・地域文化論演習その23	
第25回	日本・地域文化論演習その24	
第26回	日本・地域文化論演習その25	
第27回	日本・地域文化論演習その26	
第28回	日本・地域文化論演習その27	
第29回	日本・地域文化論演習その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	日本・地域文化論特別研究						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 京樂 真帆子 / 東 幸代 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 中井 均
講義コード	2930020	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776JRE702							

授業概要

日本における地域文化の領域について、歴史的・国際的視点に立脚し、理論的・応用的な研究課題を設定させ、分析方法、調査方法、研究成果のまとめ方などについて高度な指導を行う。

到達目標

(1) 独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができるについては、研究報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	日本・地域文化論特別研究						担当教員	専攻教員/水野 章二/京樂 真帆子/ 東 幸代/武田 俊輔/塚本 礼仁/ 市川 秀之/亀井 若菜/中井 均
講義コード	2930020	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776JRE702							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールの説明をする。
第2回	日本・地域文化論特別研究その1	
第3回	日本・地域文化論特別研究その2	
第4回	日本・地域文化論特別研究その3	
第5回	日本・地域文化論特別研究その4	
第6回	日本・地域文化論特別研究その5	
第7回	日本・地域文化論特別研究その6	
第8回	日本・地域文化論特別研究その7	
第9回	日本・地域文化論特別研究その8	
第10回	日本・地域文化論特別研究その9	
第11回	日本・地域文化論特別研究その10	
第12回	日本・地域文化論特別研究その11	
第13回	日本・地域文化論特別研究その12	
第14回	日本・地域文化論特別研究その13	
第15回	日本・地域文化論特別研究その14	
第16回	日本・地域文化論特別研究その15	
第17回	日本・地域文化論特別研究その16	
第18回	日本・地域文化論特別研究その17	
第19回	日本・地域文化論特別研究その18	
第20回	日本・地域文化論特別研究その19	
第21回	日本・地域文化論特別研究その20	
第22回	日本・地域文化論特別研究その21	
第23回	日本・地域文化論特別研究その22	
第24回	日本・地域文化論特別研究その23	
第25回	日本・地域文化論特別研究その24	
第26回	日本・地域文化論特別研究その25	
第27回	日本・地域文化論特別研究その26	
第28回	日本・地域文化論特別研究その27	
第29回	日本・地域文化論特別研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	アジア・地域文化論特別演習						担当教員	専攻教員 / 棚瀬 慈郎 / 島村 一平 / Borjigin Burensain
講義コード	2930030	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776ARE701							

授業概要

専攻する地域（アジア）・時代の論文や調査報告書を精読する。また、現地調査を実施させ、その際に作成したフィールドノートをもとに討議する。

到達目標

(1)海外地域（アジア）研究の手法を身に付け、論文や調査報告書の作成につなげられる力を習得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	海外地域（アジア）研究の手法を身に付け、論文や調査報告書の作成につなげられる力を習得することができるについては、報告の内容と討論の内容による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア・地域文化論特別演習						担当教員	専攻教員 / 棚瀬 慈郎 / 島村 一平 / Borjigin Burensain
講義コード	2930030	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776ARE701							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	アジア・地域文化論特別演習その1	
第3回	アジア・地域文化論特別演習その2	
第4回	アジア・地域文化論特別演習その3	
第5回	アジア・地域文化論特別演習その4	
第6回	アジア・地域文化論特別演習その5	
第7回	アジア・地域文化論特別演習その6	
第8回	アジア・地域文化論特別演習その7	
第9回	アジア・地域文化論特別演習その8	
第10回	アジア・地域文化論特別演習その9	
第11回	アジア・地域文化論特別演習その10	
第12回	アジア・地域文化論特別演習その11	
第13回	アジア・地域文化論特別演習その12	
第14回	アジア・地域文化論特別演習その13	
第15回	アジア・地域文化論特別演習その14	
第16回	アジア・地域文化論特別演習その15	
第17回	アジア・地域文化論特別演習その16	
第18回	アジア・地域文化論特別演習その17	
第19回	アジア・地域文化論特別演習その18	
第20回	アジア・地域文化論特別演習その19	
第21回	アジア・地域文化論特別演習その20	
第22回	アジア・地域文化論特別演習その21	
第23回	アジア・地域文化論特別演習その22	
第24回	アジア・地域文化論特別演習その23	
第25回	アジア・地域文化論特別演習その24	
第26回	アジア・地域文化論特別演習その25	
第27回	アジア・地域文化論特別演習その26	
第28回	アジア・地域文化論特別演習その27	
第29回	アジア・地域文化論特別演習その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	アジア・地域文化論特別研究						担当教員	専攻教員 / 棚瀬 慈郎 / 島村 一平 / Borjigin Burensain
講義コード	2930040	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776ARE702							

授業概要

現地調査と文字資料、歴史史料などを総合することで、アジアの地域文化の形成、発展、現状を分析し、実態解明を図る。また、その成果を高めるべく、比較研究を進めさせる。

到達目標

(1) 独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができるについては、研究報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア・地域文化論特別研究						担当教員	専攻教員 / 棚瀬 慈郎 / 島村 一平 / Borjigin Burensain
講義コード	2930040	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776ARE702							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	アジア・地域文化論特別研究その1	
第3回	アジア・地域文化論特別研究その2	
第4回	アジア・地域文化論特別研究その3	
第5回	アジア・地域文化論特別研究その4	
第6回	アジア・地域文化論特別研究その5	
第7回	アジア・地域文化論特別研究その6	
第8回	アジア・地域文化論特別研究その7	
第9回	アジア・地域文化論特別研究その8	
第10回	アジア・地域文化論特別研究その9	
第11回	アジア・地域文化論特別研究その10	
第12回	アジア・地域文化論特別研究その11	
第13回	アジア・地域文化論特別研究その12	
第14回	アジア・地域文化論特別研究その13	
第15回	アジア・地域文化論特別研究その14	
第16回	アジア・地域文化論特別研究その15	
第17回	アジア・地域文化論特別研究その16	
第18回	アジア・地域文化論特別研究その17	
第19回	アジア・地域文化論特別研究その18	
第20回	アジア・地域文化論特別研究その19	
第21回	アジア・地域文化論特別研究その20	
第22回	アジア・地域文化論特別研究その21	
第23回	アジア・地域文化論特別研究その22	
第24回	アジア・地域文化論特別研究その23	
第25回	アジア・地域文化論特別研究その24	
第26回	アジア・地域文化論特別研究その25	
第27回	アジア・地域文化論特別研究その26	
第28回	アジア・地域文化論特別研究その27	
第29回	アジア・地域文化論特別研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	考現学・保存修景論特別演習						担当教員	専攻教員 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之
講義コード	2930050	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776MAC701							

授業概要

考現学、保存修景論、地域展開論などの分野の論文を読み、また、これらの分野に応じた現地調査・実習も行う。さらに、その成果を素材として討論を行う。

到達目標

(1)考現学・保存修景論分野の専門的な研究遂行力を高めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	考現学・保存修景論分野の専門的な研究遂行力を高めることができるについては、報告・討論の内容による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	考現学・保存修景論特別演習						担当教員	専攻教員 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之
講義コード	2930050	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776MAC701							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	考現学・保存修景論特別演習その1	
第3回	考現学・保存修景論特別演習その2	
第4回	考現学・保存修景論特別演習その3	
第5回	考現学・保存修景論特別演習その4	
第6回	考現学・保存修景論特別演習その5	
第7回	考現学・保存修景論特別演習その6	
第8回	考現学・保存修景論特別演習その7	
第9回	考現学・保存修景論特別演習その8	
第10回	考現学・保存修景論特別演習その9	
第11回	考現学・保存修景論特別演習その10	
第12回	考現学・保存修景論特別演習その11	
第13回	考現学・保存修景論特別演習その12	
第14回	考現学・保存修景論演習その13	
第15回	考現学・保存修景論特別演習その14	
第16回	考現学・保存修景論特別演習その15	
第17回	考現学・保存修景論特別演習その16	
第18回	考現学・保存修景論特別演習その17	
第19回	考現学・保存修景論特別演習その18	
第20回	考現学・保存修景論特別演習その19	
第21回	考現学・保存修景論特別演習その20	
第22回	考現学・保存修景論特別演習その21	
第23回	考現学・保存修景論特別演習その22	
第24回	考現学・保存修景論特別演習その23	
第25回	考現学・保存修景論特別演習その24	
第26回	考現学・保存修景論特別演習その25	
第27回	考現学・保存修景論特別演習その26	
第28回	考現学・保存修景論特別演習その27	
第29回	考現学・保存修景論特別演習その28	
第30回	まとめ	まとめ
担当者から一言		

講義名	考現学・保存修景論特別研究						担当教員	専攻教員 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之
講義コード	2930060	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776MAC702							

授業概要

地域文化の歴史的展開、現状、展望（将来的に想定される意味）を明らかにすることはもちろん、望ましい伝統文化については、その保存修景の方策を考察する。

到達目標

(1)独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができるについては、研究報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	考現学・保存修景論特別研究						担当教員	専攻教員 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 石川 慎治 / 市川 秀之
講義コード	2930060	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776MAC702							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	考現学・保存修景論特別研究その1	
第3回	考現学・保存修景論特別研究その2	
第4回	考現学・保存修景論特別研究その3	
第5回	考現学・保存修景論特別研究その4	
第6回	考現学・保存修景論特別研究その5	
第7回	考現学・保存修景論特別研究その6	
第8回	考現学・保存修景論特別研究その7	
第9回	考現学・保存修景論特別研究その8	
第10回	考現学・保存修景論特別研究その9	
第11回	考現学・保存修景論特別研究その10	
第12回	考現学・保存修景論特別研究その11	
第13回	考現学・保存修景論特別研究その12	
第14回	考現学・保存修景論特別研究その13	
第15回	考現学・保存修景論特別研究その14	
第16回	考現学・保存修景論特別研究その15	
第17回	考現学・保存修景論特別研究その16	
第18回	考現学・保存修景論特別研究その17	
第19回	考現学・保存修景論特別研究その18	
第20回	考現学・保存修景論特別研究その19	
第21回	考現学・保存修景論特別研究その20	
第22回	考現学・保存修景論特別研究その21	
第23回	考現学・保存修景論特別研究その22	
第24回	考現学・保存修景論特別研究その23	
第25回	考現学・保存修景論特別研究その24	
第26回	考現学・保存修景論特別研究その25	
第27回	考現学・保存修景論特別研究その26	
第28回	考現学・保存修景論特別研究その27	
第29回	考現学・保存修景論特別研究その28	
第30回	まとめ	まとめ
担当者から一言		

講義名	生活デザイン論特別演習						担当教員	専攻教員/面矢 慎介/印南 比呂志/ 宮本 雅子/森下 あおい/南 政宏/ 佐々木 一泰/藤木 庸介/横田 尚美/
講義コード	2930070	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777LVD701							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	途中の進捗状況、レポート・口頭発表・制作物等によって評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活デザイン論特別研究						担当教員	専攻教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	2930080	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	研究	
ナンバリング番号	777LVD702							

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、調査、実験、実証技術の習得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文・作品の作成など研究の遂行に関わる基本的事項について指導する。

到達目標

修士論文・修士制作の完成

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出された論文・作品が、修士研究の水準にあるかどうかを判断し合否判定を行う。研究の成果として制作物を提出することもできる。詳細は修士の学位論文審査基準による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	健康栄養論特別演習						担当教員	専攻教員 / 福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	2930090	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777NUT701							

授業概要

健康栄養論に関する知見の進歩・国際比較を考慮に入れて、最新の研究論文・総説を紹介させ、質問と討論を行う。また、各自の研究分野についてセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究分野に関する知見から研究動向を把握し、また研究方法を修得することによって、問題の所在、研究の方向性を洞察できる能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員が、中間発表、研究の進捗状況の報告、研究分野における最新知見（研究論文・総説など）を紹介するプレゼンテーション内容から評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康栄養論特別研究						担当教員	専攻教員 / 福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	2930100	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777NUT702							

授業概要

各自の研究テーマに応じて研究を遂行し、博士研究論文の作成を目指す。

到達目標

博士研究論文を作成することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究の進捗状況に応じて指導教員が評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間関係論特別演習						担当教員	専攻教員 / 松嶋 秀明 / 上野 有理 / 中村 好孝 / 丸山 真央 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来 / 大野 光明 /
講義コード	2930110	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777HRS720							

授業概要

心理学、社会学、教育学など人間関係論に関わる諸分野において、最新の研究成果である各種文献を読み、討論する。これにより、諸分野の知見や研究方法を習得させ、問題の所在や新たな研究の方向を洞察する能力を養成する。

到達目標

研究分野に関する知見と研究方法を習得し、問題の所在や新たな研究の方向を洞察する能力を養成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業に対する取組や発表内容、討論等を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間関係論特別研究						担当教員	専攻教員 / 松嶋 秀明 / 上野 有理 / 中村 好孝 / 丸山 真央 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来 / 大野 光明 /
講義コード	2930120	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777HRS721							

授業概要

心理学、社会学、教育学など人間関係論に関わる諸分野、ならびにこれらの分野を横断的に扱う固有のテーマを選定し、研究をおこないその成果を博士論文にまとめさせる。

到達目標

関連の研究分野において、新たな研究の方向を自律的に探究し、独創的かつ専門的な博士論文を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究への取組や研究成果を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	研究方法特論						担当教員	専攻教員 / 水野 章二 / 森下 あおい / 市川 秀之
講義コード	2930130	単位数	2	開講期	通年集中	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777HCL701							

授業概要

学生が幅広い視野の元に研究を進めていけるよう、関連する研究領域の研究方法について、主たる指導教員以外からも指導を受けられる機会をつくる。学生は研究テーマの追求にあたって、それに関連する領域を担当する複数の教員（主たる指導教員以外の教員）の研究室を訪問し、研究テーマ、研究方法、研究倫理、そのほか研究者として必要な技法や理論的知識について個別指導を受ける。

到達目標

(1) 複数教員からの指導をもとに研究テーマを追求し、幅広い視野を身に付けることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	主指導教員と訪問先研究室教員との合議による合否判定

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リサーチ・ワークショップ						担当教員	専攻教員/水野 章二/森下 あおい/ 市川 秀之
講義コード	2930140	単位数	2	開講期	通年集中	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777HCL702							

授業概要

学生の研究を個々の専門分野の垣根を越えて組織的、多面的に指導・支援するために、履修者全員と担当教員全員が出席するワークショップを年2回ほど開催する。履修者は事前に報告要旨を提出し、その上で自らの研究計画・研究報告を発表し、質疑を受ける。ワークショップ終了後、質疑応答の結果を踏まえて改善した研究計画書および論文執筆計画書をまとめる。

到達目標

(1)自身の研究を多面的にとらえ、研究の遂行と論文執筆に取組むための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	ワークショップ参加教員による合議で可否を判定する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本・歴史文化論特別演習						担当教員	専攻教員 / 未定 *
講義コード	2930150	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別		
ナンバリング番号	776JRE701							

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本・歴史文化論特別研究						担当教員	専攻教員 / 未定 *
講義コード	2930160	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別		
ナンバリング番号	776JRE702							

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本・現代地域論特別演習						担当教員	専攻教員 / 未定 *
講義コード	2930170	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別		
ナンバリング番号	776MAC701							

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本・現代地域論特別研究						担当教員	専攻教員 / 未定 *
講義コード	2930180	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別		
ナンバリング番号	776MAC702							

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特別演習						担当教員	専攻教員 / 未定 *
講義コード	2930190	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別		
ナンバリング番号	776ARE701							

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特別研究						担当教員	専攻教員 / 未定 *
講義コード	2930200	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別		
ナンバリング番号	776ARE702							

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

